

第 23 回全国大会

日本中世英語英文学会

2007 年 12 月 8 日 (土)・9 日 (日)

駒澤大学

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1

TEL 03-3418-9252 (河崎征俊研究室)

12 月 8 日 (土) 13:00 - 17:45

会長講演 (記念講堂)

「海を渡った書物 - テューダー朝の大陸本とトマス・克蘭マー旧蔵書」

会長 高宮利行 (慶應義塾大学)

シンポジウム (記念講堂)

「Variants の諸相：初期英語研究と原典テキスト資料」

司会・総論

久保内端郎 (駒澤大学)

エクセター司教 Leofric が寄贈した古英語写本の言語について

市川 誠 (専修大学)

初期中英語における古英語語彙の残存：Seinte Marherete, MSS Bodley 34, Royal 17 A. xxvii の場合

池上恵子 (大東文化大学)

後期中英語期 ノーフォークテキストにおける方言的特徴と標準化の痕跡

狩野晃一 (駒澤大学)

Malory の作品における二異本間の異同からみた Caxton の言語

中尾祐治 (名古屋大学名誉教授)

研究発表 (1号館 1 - 202 教場)

1. 古英語テキストにおける Wyrð の用法について：Something weird?

佐藤修一 (中央大学)

2. キリスト教の神か異教の神か？ Beowulf 1.27 の 'Freaan wære' の解釈をめぐって

横田比古乃 (青山学院大学大学院)

3. 中世低地ドイツ語と英語の類似性について

平林幹郎 (大東文化大学)

研究発表 (1号館 1 - 301 教場)

4. The Canterbury Tales の Cambridge University Library MS GG.4.27 について

地村彰之 (広島大学)

5. 初期のキャクストン印刷再考 - 『カンタベリー物語』(c. 1476)のデジタル画像解析から -

小川勝也 (慶應義塾大学大学院) 徳永聡子 (慶應義塾大学)

小澤慎治 (慶應義塾大学名誉教授・愛知工科大学)

6. Gawain 詩人の方言意識

貝塚泰幸 (立教大学大学院)

12月9日(日) 10:00 - 13:00

シンポジウム (記念講堂)

「キャクストンの言語と文体」

司会・総論

尾崎久男(大阪大学)

中英語における「なぞり」に関する一考察 - William Caxton の翻訳作品を中心に

尾崎久男(大阪大学)

Caxton の *Paris and Vienne* における *there* 存在文とその関連構文 坂東洋子(兵庫県立兵庫高校)

OED2 における Caxton: *The History of Reynard the Fox* の用例を観察する

西村公正(元関西外国語大学短期大学部)

研究発表 (1号館 1 - 202 教場)

7. 中英語頭韻詩における Repetitive Word Pair 再考

松崎武志(立教大学大学院)

8. 「定型句」としてのワードペア、「表現技法」としてのワードペア

青木繁博(新潟青陵大学短期大学部)

研究発表 IV (1号館 1 - 203 教場)

9. 「奇跡体験の気絶」に関する一考察

小倉美加(流通経済大学)

10. チョーサーと「新トロイ」

海老久人(神戸女子大学)

講演(記念講堂)

“The Making of the Wycliffite Bible”

Dr. Mary DOVE, University of Sussex

* 学会受付は、12月8日(土) 11:30 - 16:00、12月9日(日) 9:30 - 11:30、記念講堂ロビーにて行います。

日本中世英語英文学会(会長 高宮利行)

事務局〒108-8345 東京都港区三田 2 - 15 - 45 慶應義塾大学文学部 松田隆美研究室内

TEL:03-5427-1193 / FAX:03-5427-1578 (共有)

[大会準備委員会] 谷 明信(委員長) 大野英志 岡崎久美子

唐澤一友 William Snell 藤井香子 不破有理